

みさくぼ

令和 8 年

文化会館だより 8

月号 第 136 号

■発行 地域活性化団体 よかつつらみさくぼ（管理受託者）

浜松市水窪支所 生涯学習グループ・水窪図書館

■問合せ/☎ (053) 982-0013

暑中お見舞い申し上げます



連日厳しい暑さが続き、お隣の佐久間町では全国最高気温が観測される日もありました。水窪文化会館では、少しでも涼を感じていただけたらと、手作りの蓮の花を展示しています。あわせて、お盆に向けて念仏踊り、そして町の有志によって復活した盆踊り・手踊りの様子も紹介しております。どうぞ文化会館や図書館で、ひととき涼しくお過ごしください。（8月末日まで）



町のできごと

第28回ヤマメつかみ取り大会

7月26日(日)、天竜区観光協会水窪支部と「ここほれわんわん塾」によるヤマメつかみ取り大会が、開催されました。

当日は猛暑にもかかわらず、県内外から約400名の来場者が水窪川に集まり、川辺は子どもたちの歓声と笑顔で大いににぎわいました。

参加者それぞれが思い思いに川遊びを楽しみ、地域の自然とふれあうひとときとなりました。



■文化会館からのお知らせ

星空観望会のお知らせ

天体観測ドームで秋の星座を観測しましょう！！

○日時 9月29日(火)

○午後7時30分～午後9時

○会場 水窪文化会館 天体観測ドーム

※小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。



文化会館ホールステージ無料開放！

○9月の開放日 毎週月曜日（7日、14日、28日）

○時間 午前9時～午後5時

文化会館にあるピアノの使用、ご自分の楽器を持ち込むこともできます。

音響設備の使用については、事前にご相談ください。

ダンスやバンド練習、発表会のリハーサルなど、あなたのスタジオとして無料で使えるチャンス！！

是非、ご利用ください。



「押出沢災害 35 年」 写真が語る被災の記録を展示しています

1991 年(平成 3 年)の押出沢災害から、今年で35年が経ちます。災害は、いつでも私たちの身近で起こりうるものです。当時の状況を写真とともに振り返りたいと思います。

文化会館では当時の写真を展示しておりますので是非、ご覧になってください。(9月末日まで)

過去を知ることは、未来を守ることに繋がります。この機会に、災害への備えを改めて考えてみましょう。



■水窪民俗資料館からのお知らせ

水窪に刻まれた戦時の記憶

水窪民俗資料館では、企画展示「^{ぐんか}軍靴の^{あしあと}足跡」を開催しています。出征される方を見送った当時の様子や、水窪の戦時下の暮らしを伝える資料を展示しています。これらの道具や品々は、戦争の記憶を後世に伝えたいという思いから、ご本人やご遺族の方々が寄贈してくださった大切なものです。これらの寄贈資料を基に当時の様子を振り返ります。

普段は常設していない資料も、この企画展にあわせて公開しています。
是非、ご来館ください。

浜松市水窪民俗資料館

開催期間8月1日から9月30日

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 月曜日休日の翌日 臨時休館日あり

〒431-4102

浜松市天竜区水窪町地頭方 1097

お問合せ先 水窪文化会館 053-982-0013



水窪の「藤布」が浜松博物館で出張展示されています

浜松博物館では、テーマ展「糸を紡ぐ 布を織る」を開催しています。これは糸づくりの道具や織機、さまざまな繊維の布を紹介する展示です。今回は、水窪民俗資料館所蔵の藤布もご覧いただけます。
機会がございましたら、ぜひお出かけください。
令和8年8月1日から10月4日まで

【会場】浜松博物館(浜松市中区蛸塚4丁目22-1)



8月のよもやま話

1945年8月15日、昭和天皇の玉音放送によって日本の降伏が国民に伝えられました。この日は「終戦記念日」として知られています。そのころ、浜松陸軍飛行学校では敗戦の混乱の中、一時「水窪の山中に身を潜めて抵抗を続ける」という計画が持ち上がったといわれています。兵士たちは物資を横山まで運び出し、山での潜伏行動に備える準備を進めました。しかしこの計画はすぐに中止となり、実行されることはありませんでした。それでも、敗戦の衝撃がいかに大きかったか、軍人たちの心がどれほど揺さぶられていたかが伝わってきます。水窪の名が思わぬ形で登場する、終戦直後の一幕です。 ※参考「ある憲兵の一生 秘録浜松憲兵隊長の手記」



森保一自伝ぽいち 雑草魂を胸に

森保 一/著

サッカー日本代表監督・森保一が、選手としての現役生活を終えるまでのサッカーキャリアを綴った自伝。サッカーを始めた幼少時代から、ベガルタ仙台で引退するまでを振り返り、森保一のサッカー人生に深く迫る。



青天

若林 正恭/著

「アリ」こと中村昂が所属する弱小アメフト部。引退大会でも強豪校に打ち砕かれて終わる。グラウンドで味わった痛みと、自分への苛立ちが胸に残り…。お笑いコンビ「オードリー」若林正恭の初の小説。



お酒のおいしい選びかた

JUNERAY/著

おいしいお酒を選ぶようになりたい人に向けた入門書。ワイン、日本酒、ビールの基礎知識を簡単に説明し、様々なお酒の中から自分好みの1本を選ぶための実践的な知識を伝える。



あきらめないひきこもりの老後 解決への道筋は必ず見つかる！ 阿部 達明/著

ひきこもりだったカウンセラーが、ひきこもりの人の親亡きあとのお金の問題や不安に寄り添いアドバイスする。



哲学を「人生の軸」にする本 どんな悩みも、「答え」はひとつじゃない 富増 章成/著

哲学者のモノの見方が身につく本。自然哲学から、大陸合理論、実存主義、唯識思想・空海の真言宗まで、主に自分の心について探究するタイプの哲学を中心に解説し、日常生活で実践できる哲学エクササイズを紹介する。



ガウディ わすれられない夏

カルラ・タボラ/作

サグラダ・ファミリア、コロニア・グエル教会地下聖堂など、今も感動をおよぼす建築物を100年以上前に設計した、天才建築家アントニ・ガウディ。その少年時代を、美しいイラストで描く。



おばけのそちから

内田 麟太郎/文

おばけやしきが、侍たちに囲まれました。閻魔様も鬼たちも守ろうとしましたが、大砲を打たれて散り散りになってしまいました。おばけの子供たちも追い詰められて…。内田麟太郎・山本孝コンビがおくるおばけシリーズ第3弾。

